

## ザトウクジラ

### 慶良間諸島のザトウクジラ クイックガイド

#### ロシアから愛をこめて

ザトウクジラは12月末から4月にかけて繁殖と子育てのために慶良間諸島に移動します。ここにたどり着くために、ザトウクジラは北極海のすぐ下流にあるロシアとアラスカを隔てるベーリング海峡から6,000キロメートルの距離を泳ぎます。一般的に、ザトウクジラは一年に半年の間しか餌を摂りません。北極の海にいる間に食べ、熱帯・亜熱帯の海に移動した後は蓄えた脂肪で生命を維持します。ザトウクジラはヒゲクジラです。これは、ヒゲクジラは上顎からのびる刷毛のようなヒゲの板で食物をろ過するという意味です。

#### 強大な海洋哺乳類

成体のザトウクジラの体長は13～15メートル（シロナガスクジラの約半分）、体重は25～30トンで、子クジラの大きさは約5～6メートルです。成体のメスは、オスより1メートルほど体が大きい傾向があります。ザトウクジラの最も明らかな特徴は、胸びれ（体長比はクジラ類では最大の約三分の一）、頭の上の隆起、そして小さな背びれの前にあるコブです。

#### グレーテストショーマン

ザトウクジラは80年も生きられるので、毎年同じクジラが慶良間諸島に戻ってくることがよくあります。個々のクジラは、尾びれの裏側にある固有の模様によって識別できます。ところで、ザトウクジラのアクロバティックな求愛の儀式は、世界中のホエールウォッチャーの心を掴んでいます。印象的な浮上動作には、ブリーチング（水面から飛び出す）、スパイホッピング（水面から半身を出し、体躯を垂直にした姿勢を維持する）、胸びれや尾びれを打ち付けるなどがあります。

#### ルールを守ろう

遊び好きで友好的なザトウクジラは、アザラシをシャチから、さらには人間をサメから守ってくれることさえあります。この友好のようなものに応えるため、慶良間諸島では厳格なルールに従ってホエールウォッチングを行っています。ボートは、クジラの半径300メートル圏内で速度を落とします。クジラから100メートル以下の距離まで近づいてはいけません。また、いかなる形でもクジラに干渉してはいけません。

これらの制約にもかかわらず、慶良間諸島のホエールウォッチングボートは90%のクジラ目撃率を誇ります。なぜでしょうか。それは、ベテランのクジラ観測員が、座間味周辺のさまざまな地点からクジラの吹く潮を探しており、リアルタイムでボートをクジラがいる場所に誘導できるからです。

#### クジラ豆知識

Hampback whale は日本語でザトウクジラと呼ばれます。Whale はクジラを意味し、ザトウとは琵琶（一種のリュート）を演奏する僧を指します。この琵琶の曲がった首が泳いでいるザトウクジラの形に似ていたため、この名前が付けられたと言われます。

#### 陸からクジラがみられるベストスポット

**渡嘉敷:** 北山（ニシヤマ）、照山展望台

**座間味:** 稲崎展望台

